

行 事 名 称	第120回技術者倫理研究会 例会 (中国本部主催)
開 催 日 時	2025年11月22日 (土曜日) 13:00~17:00
開 催 場 所	Web中継、各地域本部等 中国本部会場
主 催	公益社団法人日本技術士会登録 技術者倫理研究会 <a href="http://engineeringethics-studygroup">engineeringethics-studygroup</a>
参 加 者	全国で146名参加(うち北陸本部参加者8名)
演 題	【講演1】変化の時代の実践倫理力を考える 【講演2】徳山高専での倫理教育の取り組み
講 師	【講演1】比屋根 均氏 (衛生工学、総合技術監理) 【講演2】福富 弘幸氏 (上下水道、総合技術監理)
講 演 資 料	あり
内 容	<p>【講演1概要】</p> <p>現代は、DX、SDGsなど、イノベーションを超えてトランスフォーメーションが求められる時代であり、SNSの発達や生成AIの進化と普及が進むことで、従来の倫理判断の方法や基準が通じなくなる事態が生じてきている。技術者に求められる倫理も、従来と変わらない部分もあれば、技術者もこの世界に棲む市民である以上変化する部分もあるはず。そのような変化に対応するためにどのようにすればよいかを考えてみる。</p> <p>【講演2概要】</p> <p>徳山高専での技術者倫理教育において、約15年にわたり実務で実際に生じた事例をもとに行っている。授業では、学生は6名程度のグループを構成し、各テーマについて講師の説明を受けた後、討議を行う。学生は交代で座長を務め、討議のまとめとして会議録を作成し、座長はさらに報告書をまとめる。次回の授業では、各班の座長が報告書を発表し、再び討議を行うことで理解を深める。この教育を通じて、学生は常に中立公正を堅持し、公益性を確保しながら業務を行う技術者の立場や姿勢を理解することを目指している。この取組みでは、各講師が自らの専門的経験に基づいた個性的な授業を工夫して行っている。これらの内容を紹介する。</p>
所 感	<p>【講演1】ご自身の中部本部技術者倫理活動の紹介にはじまり、“倫理的”とはどういうことか?、“志向倫理”的検討、志向倫理を実践する能力 (=倫理実践力) とは、これから的是非の“倫理実践力”…いくつかの内容提示、と幅広いご経験に基づく講演で大変興味深い内容だった。</p> <p>【講演2】ご自身の学校での講義内容に基づき、橋梁点検業務、事故事例、公務員、設計ミスの対応事例、吊り橋点検事例、地球環境問題などの事例研究に基づく講演だった。</p>
記入者 : 2025.11.25 倫理委員会 阿部治彦	